DAD'S STYLE 2013 autumn & winter

Sergei Sviatchenko

アーティスト・エディター／age61

モダンクラシック主義のアーティストスタイル

セルゲイ・スヴィアチェンコ氏は、現代古典主義（Modern Classicism）を再解釈したヴィジュアルアーティストで世界中に名を馳せるアーティストだ。ウクライナのハルキウに生まれ、同地でアートと建築を学び、博士号を取得した。現在も精力的にヨーロッパやアメリカで数々の個展を開き、その評価はますます高まっている。

「私なりのファッション写真の表現手段として2009年から『Close Up & Private』プロジェクトを開始し、今では同名の雑誌もリリースしています。『Close Up & Private』プロジェクトの立場でさまざまなコラージュ作品を手掛けていますが、Close Up & Privateでの見せ方はメンズウェアのディテールをコラージュするアートプロジェクトだと思っています。この試みも私の表現手段のひとつなのです」

もともとブログをきっかけにスタートしたプロジェクトだったのだが、ファンや支持層が増えに増え、現在では雑誌だけでなくオリジナルアイテムもリリースしている。Costume National、Dickies、Gant Rugger、Levis Vintageを始めとする名だたるブランドとのコラボレーションアイテムを発表するまでに至っているのだ。そんなスヴィアチェンコ氏自身のファッション観の根幹はどこにあるのだろうか。聞けば、その原点はアイビーだという。確かに彼のスタイルは、ヨーロッパのアイビーファンに大いに注目されている。

「しかし私自身、自分が好むスタイルがアイビーとはあまり意識してこなかった。私が敬愛する建築家、例えばフランク・ロイド・ライト、フィリップ・ジョンソン、ヴァルター・グロピウス、ミース・ファン・デル・ローエ、ル・コルビュジエたちの着こなしを真似できただけ。でも今よくよく考えれば、彼らの何人かはアイビーリーガーだったんです。アイビーの美学は快適でありながら、スタイリッシュでタイムレスなこと、同時にクオリティも併せ持っている。ビューティフルでありユースフルでもある。私にとってアイビーは永遠のテーマと言えます」

Profile●
セルゲイ・スヴィアチェンコ／1952年生まれ、ウクライナ・ハルキウ出身。アーティスト、エディター、「Close Up & Private」ファウンダー。ウクライナのハルキウ生まれ。1990年よりデンマーク在住。建築家を経て、コンテンポラリー・アーティストに転向。ファッションをアートとして落とし込んだプロジェクトとして「Close Up & Private」ブログからアイデアを得た同名の雑誌を発信し、また同名ブランドからファッションアイテムもリリースしている。

interview by Aya Komboo / text by Masaki Takahashi / photo by Kurt Nielsen

Burberry SOUTIEN COLLAR COAT

英国バーバリー社のステンカラーコートは、セカンドハンドストアで購入したおそらく60年代製。「ボックスシルエットで丈が短く幅広。いかにもクラシック。生地がとても薄いのは、きっと長く着込まれていたからでしょう」

Misrno TOTE BAG

デンマークのMisrnoというブランドのキャンバストート。「LPを入れるのにちょうどいいサイズ。ハンドルはレザーで安っぽく見えないし、トップ部分がジッパーで開閉できる仕様なので、カジュアルすぎなくていいですね」

Toftegaard Zodiac STONES RING

『Close Up & Private』が『Toftegaard』に別注して作ったゾディアックストーンリング。「ネイビーブレザーを着用した時など、ブルーやネイビーを取り入れたコーディネイトの時には特に相性がいい」

Polo by Ralph Lauren NAVY BLAZER

2008年のハンブルグにて購入。段返り3つボタン、パッチポケットタイプの1着。「B.D.シャツと並んでなくてはならないアイテム。カジュアルからフォーマルまで万能に役目をこなしてくれる」

Brooks Brothers LEATHER GLOVES/ Gant Rugger BOW TIE

パリのブルックス　ブラザーズで購入した「とても薄手でクラシックなところがよい」レザーグローブとコペンハーゲンの『Gant』で購入したボウタイ。アクセサリーはシンプルなものが好み

Brooks Brothers LEATHER WALLET

ブルックス・ブラザーズのバイカラー2つ折り財布。「今持っているアイテムの中で最も新しい。コインと少しのカード、そして保険カードなどがきちんと入るパーフェクトなサイズ。馴染ませていくのが楽しみ」

Ralph Lauren WING TIP SHOES

トゥのシェイプがシャープで美しいラルフ　ローレンのウィングチップ。外羽根タイプなのにかなり顔つきはエレガント。「ようやく足に馴染んできた。ラフな服装にも似合うので、かなり重宝している」

Dockers K-1 Khakis

ドッカーズ社のヴィンテージミリタリーチノをモチーフに作られたモデル。「9.0オンスのクラマートン・アーミークロスを採用していてタフさは抜群。ストレートフィットで1000本限定モデル」

WORK DESK

←ワークデスクの周りには、2006年発表の「LESS」シリーズの絵、1988年にセルゲイ氏が手掛けた初期作品「Snow」、1964年のザ・ビートルズのオリジナルポスター、アルバム“Beatles For Sale”のためのRobert Freemanのフォトセッションの写真などが飾られている

ART

2012年発表のシリーズ「LESS」からのコラージュ作品。「ちょっと前衛的で、不可思議なデザインがとても面白いでしょう？　こういった刺激的な作品を製作したり眺めたりしていると、さらにインスピレーションが湧いてきたりする。アートは私にとって重要な意味をもっている」

Polo by Ralph Lauren Oxford B.D. SHIRT

レギュラータイプの白のオックスフォードボタンダウンシャツ。「ラルフ　ローレンのこのシャツの完成度を超えるものがあるだろうか？　私のスタイルを作り上げる基本アイテムです」